

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス るび			
○保護者評価実施期間	R7年 3月 1日 ～ R7年 3月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)	17
○従業者評価実施期間	R7年 3月 1日 ～ R7年 3月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 4月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さんが心地よく過ごせるような環境が設けられていること。事業所の目の前がこども医療センターで病院があるので立地的にも環境が良いこと。 車いすなどバリアフリーへの対応も可能なトイレもついている。	毎日の活動カリキュラムを設定している。月ごとにお便り配信をしている。朝の会や帰りの会以外ではお当番活動やお手伝いを中心にお子さんの自立活動を積極的に行っています。	積極的にSTなど専門的な指導員にきてもらって個別療育にも力をいれていきたい。集団活動を通して個々が尊重できるように自己肯定感や達成感を味わえるような経験をたくさん積めるようなに他児同士のやりとりをたくさんしていけるように促していきます。
2	お子さんの人数が多くなってきているのでそれぞれ経験のある職員たちの研修を設けてスキルアップがあることで質が期待される。	スキルアップのためにフィードバックシートを設けて振り返りをしたり、毎日の打ち合わせで予測をたてて職員の動きを確認しています。	職員間の連携や報連相をこまめに行ったり、また人事育成も細かく行っていきます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他害があるお子さんへの職員配置について	情報共有の不足や知識不足で対応が難しいことがあるので他児に影響がなるべくないように距離を離す、個室の活用を行います。	怪我がないように距離を保つように対応したり、他害があるお子さんには職員一人加配をつけるように担当をつけます。
2	担当者会議、ガイドライン等管理者が関与するものの情報共有があまりない	積極的に情報を自分から取りに行く意識を高めていく。	定期的な情報共有をこまめに入れていながら、事業所での担当者会議を設けて職員の発言を促していきます。 また職員の視点を広げるために意見交換を通していきます。
3			